

7月号 江戸川区議会議員

月刊田中けん vol.31



区議会「一人の会」無所属 2006年7月1日発行

禁煙マークは、区民の健康を願う田中けんを象徴しています。

エレベーターに関する情報

区施設に設置している61台のエレベーターについて。過去1年間に15台が、特定階で扉が開かない、かごの中で子どもがジャンプしたら止まってしまったという報告あり。メンテナンス会社の対応により解決済み。

区内民間建物の状況について。区内には14棟の建物に19台のシンドラー社製エレベーターが設置されている。6月7日に各管理者へ問い合わせたところ、特に不具合は無い。

エレベーターの保守管理会社に関して。江戸川区では、今年4月からSECエレベーターが請け負っている。都営住宅については、シンドラー社が直接、保守点検を請け負っている。

メンテナンスをシンドラー社に任せなかったとして、シンドラー社から港区が批判された。行政が行う入札制度に問題は無いのか。保守点検には、フルメンテ契約とPOG契約という、2つの方法がある。フルメンテは何かで何まで全部責任を持つ。POGは点検をして、もし部品が悪かったら有償で交換するという方法。フルメンテについては、大体メーカーが直接請け負うが、POGについては入札を行っている。どういう基準でどちらの方を選んだかは調査したい。

info@t-ken.jp

R100

古紙配合率100%の再生紙を使用しています

お名前と連絡先をご記入の上、「月刊田中けん」への感想文を送って下さい。匿名にてご紹介します。ただし紙面の都合により短文化します。多数の御意見をお待ちしております。

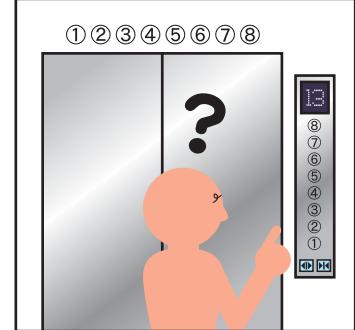
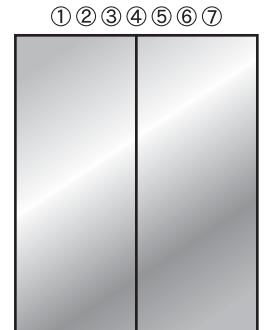
弁護士の無料法律相談を受付中

詳しくは、03-5662-7755まで。(平日は午後からの受付です)

特集

エレベーターに関する情報

(6月9日の建設委員会での質疑を要約)



建設委員会終了後、総務部用地経理課契約係(03-5662-1005)へ行って、今後の対応について聞いた。すると、警察の取り調べや東京都の動向を見ながら、江戸川区独自の判断として、シンドラーエレベーターを入札停止の処分にする可能性もあるとの回答を得た。



江戸川区内シンドラーエレベーター設置状況

設置者	施設名	シンドラーエレベーター設置基数
江戸川区	区住除く施設	設置なし
	区住	設置なし
東京都	葛西市場管理棟	2
	葛西臨海水族園	1
	葛西消防署	1
	葛西家族待機宿舎	1
	都住(区内含む)	344
公社住宅	賃貸住宅(区内含む)	15
	公社都民住宅(区内含む)	11
	公社都民住宅(区内)	
国		設置なし

※都営住宅と公社賃貸住宅と公社都民住宅に関しては、全体で3380台のエレベーターがある。その内、シンドラー社製のエレベーターは、計370台ある。区別の内訳は未公表。

田中けんの写真日記

6月15日



13時から、都立江戸川高校へ視察に行きました。
目的は、高校におけるインターネットの授業を見ることでした。

江戸川区には、情報ネットワーク推進議員連盟(以下、情報議連)という議員たちが自主的に集まって勉強する集まりがあります。自主的な勉強会の良いところは、普段区政の中では対象としない都施設のような分野であっても、視察対象にできるということです。

これまで、情報議連は、区内小中学校におけるパソコン授業の実態について視察をしてきました。その延長的な発想から、高等学校の実態についても視察しようということになりました。都立江戸川高校は、江戸川区役所にも近く、たまたまIT推進校とのことでしたので、視察先に選びました。

パソコンに関する知識は、家庭環境に大きく左右される分野です。自宅にパソコンがあるのか無いのか。インターネットができるのか、できないのかなど、知識量についても、できる子とできない子の差が激しい分野でもあります。そのような、生徒間の事情の違いにも配慮しながら、授業は進められました。小中学校と違って、静かにまじめに学ぶ生徒達の姿が印象的でした。

6月17日

6:30

江戸川区倫理法人会の会合に出席しました。
「私の倫理観」というテーマでお話をしました。

以下、簡単に講演内容についてお伝えします。
語呂合わせではありませんが、「徳」は「得」に通じないと世の中に定着しません。
例えば、人間の徳目の一つとして、正直という考え方があります。
正直であることが、人間にとて良いことだと考えられています。このよう
に人間として、あるべき姿の一つが、正直であるとすれば、正直であることが、
その者の「得」につながらなければ、人間ひとりひとり、つまり社会に「正直」という徳目は、定着しないということです。

キリスト教文化では、懲悔という制度があります。どんなに悪いことをしたとしても、神の前で正直に告白すれば、どんな罪でも許されると言う考え方です。つまり正直であることが、本人の罪を許すことにつながるという「得」につながっているのです。罪は正直に話すことによって許されるわけですから、正直に話された情報を根拠に、相手を責めてはいけないということです。

日本では、キリスト教的文化背景はありません。だから、正直に話しても「許される」ということが、社会的に確立していないのだと思います。正直に話すことを強要されたにも関わらず、正直者が責められる光景は日常茶飯事にあります。

罪人は、罪が許されると思うからこそ、つまりそれが自分の得になると思うからこそ、正直に話をするのです。もしも、それが得にならぬ、むしろ損になるとしたら、誰が正直に話をするのでしょうか。「正直者は損をする」だからこそ、日本では正直という徳目は社会的に定着せず、嘘つきが世間にはびこるのだと私は思っています。そのことが、二次的、三次的な不幸をこの世の中に作り出しているのだろうと思います。

昔、日航機墜落事故の時、ボーイング社の整備を担当した人たちは、誰一人として刑事的責任を追求されませんでした。それはその時の事情を正直に話すことによって免罪するという「司法取引」という制度がアメリカにあったからです。罪人を罰するよりも、まずは事件の全貌を明らかにすることで、事故再発を防止することを最大の目的にしているからこそ考えられた制度なのです。

罪人の罪を追求することよりも、罪人の体験を正直に話させることによって、二度と同じような罪人を作らせないために、同じような事故が起こらないようにするために、正直な者を罰しない「司法取引」のような制度が日本にもあればよいかと思います。

現在の日本はどこまでも犯罪者の責任を追及して罰しようとするからこそ、昔起こった同じような事件・事故が、原因究明をさげず、今でも繰り返し発生してしまうのだと思うのです。

世の中には色々な人がいます。倫理的な人ばかりだけで世の中が成り立っているわけではないのです。
そのような人たちに対しても、人間としての徳目を定着させるためには、正直という徳目が、本人の「得」につながるように社会制度の充実を考えても良いのではないかと思っています。ざっと話すと、このような講演内容でした。





10:00

次の集会へ向かうために立ち寄った、新小岩駅前の風景です。

土曜日の朝だというのに、葛飾区の職員らしき女性たちが、ポイ捨てや歩きタバコをしないように、訴えていました。

江戸川区でも本格的に駅前美化運動に取り組むのは、いつになることやら。



11:00

東京湾で行われた船上パーティに出席しました。司法書士の方々がお集まりになった席上で、田中けんは、来賓としてあいさつをいたしました。

18:30

禁煙団体の集会に参加してきました。

本日のテーマは、請願・陳情の出し方でした。

議会人ということで、私が呼ばれ、解説者のような立場から、発表者に対する補足説明をいたしました。



府内セクハラ疑惑について

最近、各議員宛にある管理職が犯した府内のセクハラを訴える手紙が匿名で届いた。それを受け、疑惑の真偽を確かめるべく、6月9日に助役より非公式の説明会が開かれた。助役によると、内部調査を進めた結果、以下の事実が確認された。

1. パワーハラスメントがあった。
2. セクハラと疑われかねない行為があった。

パワーハラスメントとは、女子職員に対して、唐突に「おまえは俺のことを嫌っているだろう」と言って詰問し、最後には泣かせてしまったというもの。これは周囲にいた職員により、途中で止められた。

セクハラまがいの行為は、職員旅行中に起こった。酒の席が終焉に近づき、ほとんどの職員が席を離れた。たまたま当人と女子職員だけがその場に残った。しばらくして、ある職員がその場に戻ってみると、その2人がもつれ合っている現場を発見した。発見した職員は、すぐにその場から、2人を引き離した。

後日、その女子職員を聞いたところ、セクハラではなく「ふざけていただけ」との回答を得た。つまり合意の上のこと。ちなみに、詰問された女子職員と、もつれ合った女子職員は別人。

どちらの行為も管理職として問題行動ではあるものの、上司から厳重注意を受け、本人猛省の末、現在に至ること。(現在の当人に対しては、周りから「おまえは二次会に参加するな」とか、「おまえは酒を飲むな」などと言われているらしい)

このような報告を受け、各議員からは以下のような見解が助役に対して述べられた。

1. 双方の合意があっても、職員旅行中に職員同士が「もつれあう」など、あってはならない。

2. 男女の上司と部下が2人きりになるという状況を作らないように。
3. 双方同意の職場恋愛であっても、破局後は一方から「あれはセクハラだった」と言われかねない。セクハラ防止の観点から、職場恋愛の取り扱いに注意すべき。
4. 問題発生後は、人事移動を行って、当事者同士が職場で出会わないように配慮すべき。
5. 恋愛関係や結婚に至った場合も同様で、当事者同士が職場で出会わないように移動などの対応が必要。
6. 更なる上司に相談できる体制が必要。
7. 労働組合にも相談窓口があると良い。(特に女性の場合は、同性の相談者相手が必要)
8. セクハラ対応マニュアルの作成が必須。

後日、職員課に問い合わせて、新人職員の研修資料として、『研修のひろば』(1998年)28ページ分と『誰もが快適に働く職場づくり』という係長講演会の資料4ページ分を入手した。セクハラは、新人よりむしろ管理職こそが起こしやすい犯罪なのだ。管理職研修としてのセクハラ防止教育がされていない江戸川区の現状に疑問が残った。



読者からのお便り



◆都営新宿線に関してですが、急行を無くして欲しいという読者の意見はおかしいです。確かに都営新宿線だけを見れば短距離かもしれません。しかし実質は京王線に直通しているので中長距離とかわりません。東京のベッドタウンとしての江戸川区から新宿以西にも通勤、通学する方が大量にいるのをご存知なのでしょうか。

もしもご存知でしたら、急行をなされなんて意見は出ないはずです。それよりも大島駅始発の急行の方がおかしいと思いませんか。

また都営新宿線の運行をJRよりも速くする必要がないとの意見ですが、区内におけるJRの駅は、平井、新小岩、小岩の三駅だけです。しかもすべて江戸川区の北の方にだけです。（投稿した読者の方は）江戸川区の中だけの事しか考えてはいませんか。江戸川区民は江戸川区でしか生活している訳ではないのです。もつと広い視野で検討していただきたいです。急行を廃止せよなんて。ましてや、ほとんど空いている電車なんて誇張すぎるほどです。逆に急行を増やしてほししい位です。確かに昼間は空いています。急行を廃止せよなんて。ましてや、ほんと江戸川区から他へ通勤、通学する人もいますし、逆に江戸川区にくる人もいるのです。それらを考えないでいるでしょ。ただし、その時間帯は各駅停車の電車も空いています。

ベッドタウンとしての江戸川区を自覚してもう一度考察しなおすことを強くすすめます。

◆六月号(Vol.30)に掲載された「読者からのお便り」に反論します。投稿者は、多分都交通局の職員、または関連企業の方なのでしょう。そうでなければ専門用語の羅列はありません。ビックリしました。

は、都議会の議事録にもあるように石原都知事が二十四時間運転を主張した時の都交通局の反論そのものであります。一般人が、需要や人件費や治安という言葉を使って反論する訳がないと思います。

1. 停車駅が少ない点について
投稿者の主張には、証拠となる数字がありません。ただ平行に走つている東西線が急行を走らせているので、だから、都営新宿線も急行を走らせ良いだろうというご意見です。

都営新宿線で、追い越し線路があるのは、瑞江駅だけです。後の大島駅、岩本町駅には追い越し専用線路はありません。大島止まりや岩本町止まりを前提にしたホーム作りです。瑞江駅の追い越し車線は、終点の本八幡駅における車庫代わりに作った路線です。もし最初から急行運転を想定していたとするならば、全線オーブン時から急行運転することがあるべき鉄道運営かと思います。

2. なぜ都営なのに千葉県に。
この方の文章には、「篠崎止まりでは利用者に不便」と書いてありました。が、私は都営新宿線を篠崎止まりにさせることで構いません。ただし、当初の計画では、第2成田空港線への接続のための「本八幡駅」だったはずです。結果として、その計画は頓挫しました。都交通局のずさんな計画があつたわけですね。その計画を隠す為に、急行電車走行案を浮上させたのでしょうか。

5. 都営線と東京メトロの比較
車内でAMラジオが聴ける。確かにそのサービスがあります。しかし、鉄道が走行している場所は地下です。周りの騒音が大きく、殆ど聴けません。サッカーのW杯のラジオ中継も雑音で聴くことができません。また、大型モニターは、何を目的に設置したのでしょうか。六月十六日は電車が大幅に遅れましたが、モニターによるお知らせは何もありませんでした。

3. 女性専用車両
この方は、女性専用車両の導入よりも、八両編成を十両編成にする方が先だと。この点について私は十両編成より運転間隔の短縮を主張しています。ともかく女性専用車両は、今や当然でしょう。

6. ワンデーパスの五百円のアピールされていましたが、五百円で乗車できるのは、一年間の中で数回だけです。毎日乗車できるわけではありません。通常料金は七百円です。一日あたり七百円を払って元を取る区民や都民はいないと思います。

4. 二十四時間運転
二十四時間運転には、人件費と治安の問題が関係してくると言う回答を強くすすめます。

二〇〇七年問題に関連しますが、昨今の定年組には、まだまだ労働意欲があります。バブルがはじけた時に観た光景でしたが、東京都庁の職員出口前のタクシー乗り場には、夜の十時頃から客待ちのタクシーがとにかく多かったか。とてもビックリしました。公務員が支払うタクシー代も区民や都民、国民の負担です。多くの民間企業は、深夜タクシーの費用削減または廃止をしてきましたが、是非、東京都の深夜タクシー代を調査して下さい。

「月刊田中けん」を買ってください (形を変えた政治献金のお願い)

この月刊紙は区内駅前を中心にお配りしています。制作には、1枚10円で1万部発行により、毎回約10万円の費用がかかります。田中けんの政治活動を経済的に支えてください。

ただし透明な政治資金にするため、扱いは全て銀行振込にします。それらの合計が年間5万円を超える場合には、政治資金規制法第12条により、対象者の氏名・住所・職業などが公表されます。ご協力をよろしくお願ひします。



料金振込先

みずほ銀行

小松川支店

普通 1015472

田中けんを応援する会

「月刊田中けん」を配ってください

読者の中から「月刊田中けん」を手配りしてくれる方を募集しています。手配りと言っても、駅前に立って私と一緒に配布してくれと言うわけではありません。まとまった「月刊田中けん」をご自宅までお届けしますので、それをご近所や知り合いの江戸川区民にお渡しして欲しいのです。

少しでも、ご協力いただける読者がおられましたら、是非、ご連絡をください。

03-5662-7755 または、info@t-ken.jp こちらまで。

【勝手に推薦】各種銀行ランキングで、常に上位で評価される新生銀行(0120-456-860)。インターネットを使った振込手数料は月5回まで無料。セブンイレブンや郵便局のATM利用は、毎日24時間手数料無料。キャッシュカードは、海外のATMでも、自分の銀行口座から引き落として、直接、現地通貨が手に入ります。便利です。おすすめします。【勝手に推薦】

高速道路の無料化



江戸川区
議会議員

田中けん

自宅事務所

〒132-0021 江戸川区中央4-25-14
電話 03-5662-7755
E-mail info@t-ken.jp

禁煙の徹底

プロフィール

1966年 江戸川区生/松江三中卒 墨田川高校卒 千葉大学教育学部卒
○1995年4月 江戸川区議会議員選挙 (2789票・41位)当選
○1999年4月 同選挙 (4282票・16位)当選
●2001年6月 東京都議会議員選挙 (12394票・8位)落選
○2003年4月 江戸川区議会議員選挙 (4103票・15位)当選
江戸川トライアスロン連合会長、ホームヘルパー2級、スペイン語を勉強中

人口過密の解消